

補聴器相談医とは

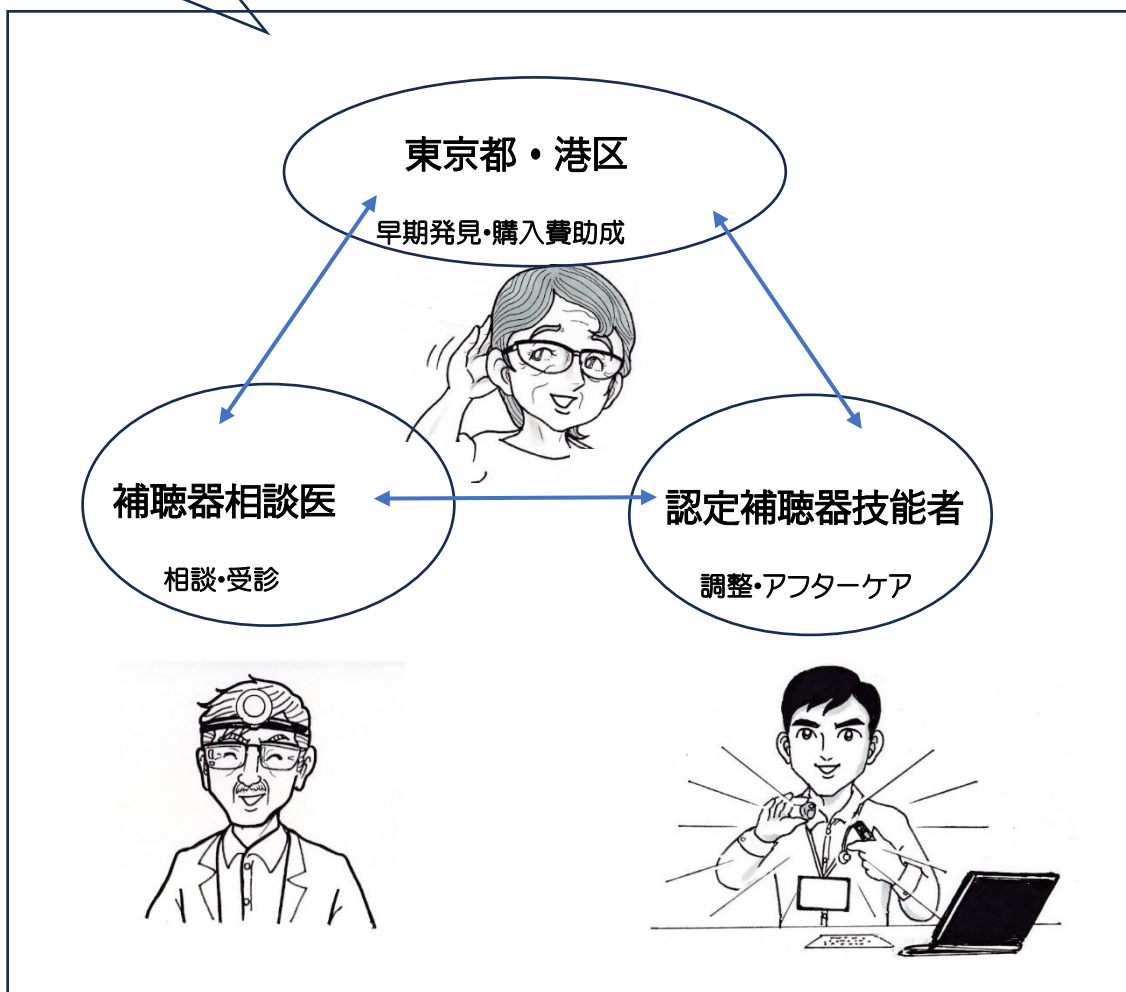
日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会が規定する講習を履修し難聴者のための補聴器の選択や補聴器医療を推進する。都道府県ごとにHPで名簿が公表されている。大阪府は365名(2022.8.1現在)

認定補聴器技能者とは

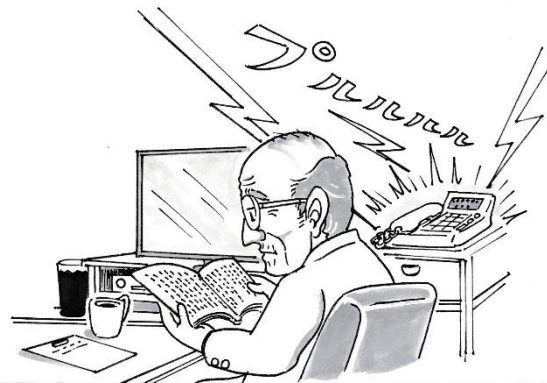
協会<sup>④</sup>が実施する4年間の認定補聴器技能者養成課程を修了し、最終試験に合格したものに与えられる民間資格。

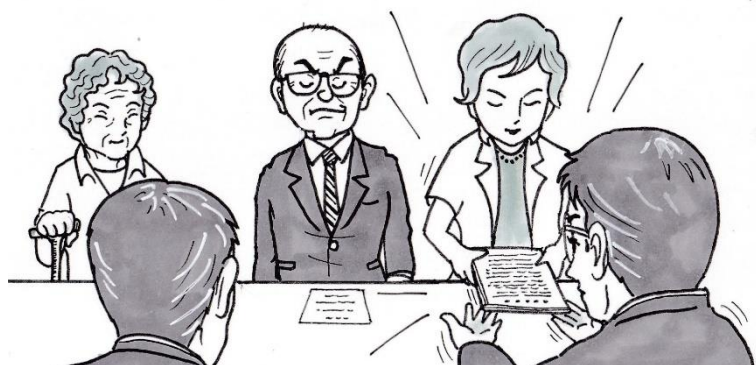
④公益財団法人テクノエイド協会

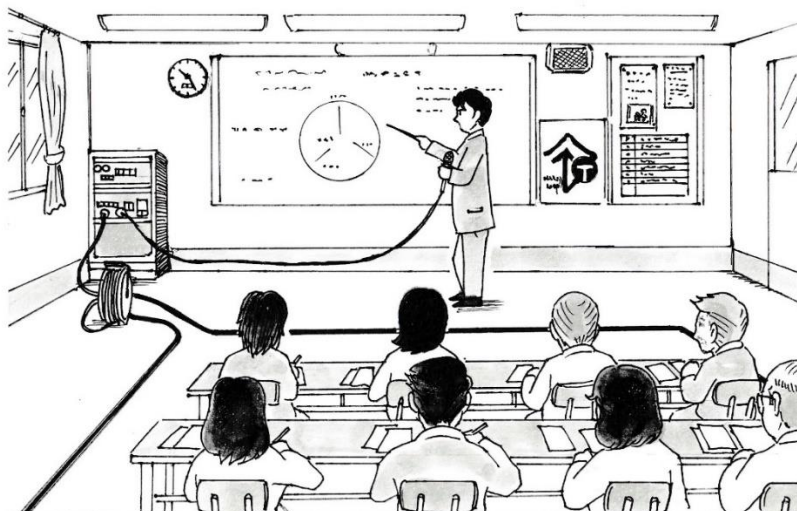
カット活用例



※ カットの著作権は年金者組合大







補聴器公的支援に向けた運動とともに

# ヒアリングシステム

公共施設設置の運動にも取り組もう

ヒアリングループとは

磁気ループとも言います。難聴者の聞こえを支援する設備で、床にはわせたループ状の専用アンテナを使って、マイクの音を電気信号に変えて、直接補聴器に届けます。ループ内側ではクリアな音を聞くことができます。

日本補聴器工業会の 2020 年 1 月 29 日開催された報告会での成沢理事長の話

**ループ設置義務付けが大事**  
**公共の場に設置**

欧米では、公共の場所にはヒアリングループ(磁気ループ)の設置を法律で義務付けていることが、補聴器の普及を後押ししているといえます。

同工業会によると、ドイツではバリアフリーに関する法律で、公共の劇場や映画館、鉄道駅、スーパーなどにヒアリングループの設置を義務付けしています。フランスでは公共・私設のエレベーターへのループ設置の義務付けなど同様の法規を制定しています。イギリスやデンマーク、スウェーデンもそれぞれ、ループの設置義務付けとその活用を推進する法的な措置を取っています。成沢さんは「補聴器の普及には、公的補助やヒアリングループの設置義務付けなどがかせません。難聴者が生き生きと暮らしていける社会づくりに、工業会としても力を尽くしたい」と話しています

しんぶん赤旗 2020 年 2 月 8 日号「補聴器社会参加広げる」から一部抜粋





